

金沢大学の医学部 6 年では、興味のある科を選択して数週間の実習を行います。
2024 年の実習の感想の中で、ご本人から掲載許可を得られたものを紹介いたします。
核医学の実習および研修などを検討される方は、参考にしてください。



Student doctor A 先生

ご指導いただきありがとうございました。核医学は雰囲気も良く、とても楽しく勉強できて充実した実習でした。

自由時間も多く、とても有意義に時間を使うことができ良かったです。

インターン実習では核医学のことを十分に知れるので、実習に来てもらうために、サブスペでしっかり核医学の魅力を学生に伝えることが大事ではと思いました。

QOL が高い、ブルーオーシャン、これからますます必要とされる、金大が核医学のトップ、これらも十分魅力ですが、学問としての魅力を伝えるとより良いと思います。

私が感じた核医学の学問としての魅力は以下の通りです。

- ・全身が診られる。
- ・治療では内科的な側面もある。
- ・癌の多発転移に少ない副作用で太刀打ちできる！ ← 内照射すぎ
- ・病変に特異的に集まるものを見つければ、診断も治療もできる。

特に、下 2 つの特長をフル活用しているところが私は好きです。

人によっては、解析の開発も魅力かもしれません。



Student doctor B 先生

1 か月間の実習、お世話になりました。

実習を通して、読影室の雰囲気がよかったのが印象的でした。

居心地がよく、休み時間も読影室で過ごすことが多かったです。

先生方が気さくに話しかけてくださったのもよかったです。

読影では、初めて見る種類の検査を基本から分かりやすく説明して下さったり、難しい症例でもフィードバックを丁寧にしてくださったりととても勉強になりました。

また、隙間時間に研究関係のことや 3 年目以降のキャリアの話をして下さり、進路を考える材料になりました。

なお、私は核医学に元々興味があり満足のいく実習でしたが、インターンシップの大体の内容を医局説明会やサブスペで前もって知ることができればいいと思いました

(各科のインターンシップの情報は少ないです。学年で情報共有するシステムがあればいいのですが)。理由としては、サブスペ科だしゆるそうだと思って核医学を選択すると(実際にゆるい科もあるので)、国試勉強に集中したい学生は少し後悔するかもしれないからです。

Student doctor C 先生

大変お世話になりました。核医学に対する抵抗感を減らし、興味を持つきっかけになる実習となりました。

特に毎日行った読影実習で、実際の症例で読影させていただいた後、気になった点・疑問点に関してその場でフィードバックを得られたことが非常に勉強になりました。とても質問しやすい雰囲気であったため、やりっぱなしにするのではなく、しっかりと疑問を解消してから次に取り組んだことで、充実した実習にすることができました。先生方から声をかけていただくこともあり、サブスペでは体験できないことも色々学ぶことができました。

実習で核医学を選択して良かったです。ありがとうございました。



Student doctor D 先生

1か月間ありがとうございました。全国、世界で功績を残されている金沢大学核医学診療科で実習でき、とても貴重な経験となり、勉強になりました。

どの先生もとても熱心にご指導くださり、読影等で不明な点があれば、すぐに質問しやすい環境であったのも良かったです。

また読影の際に、一読終了したら詳細にフィードバックを頂け、大変お世話になりました。読影をやりっぱなしにせず、その場で疑問点を解決できたため、自分の中で日を追うごとに少しずつ読影ができるようになったような気がします。

採血実習では、今まで機会があまりなく、その場で改善点を教えて頂き、今後への自信になりました。ありがとうございました。

1か月間大変お世話になりました。ありがとうございました。

